

平成29年
火災・救急統計



糸島市消防本部

はじめに

この統計は、糸島市消防本部管内における、平成29
年中の火災・救急・救助等に関し、今後の消防行政上の
資料とするため作成したものです。

目次

火災編

1 . 火災の推移	P	1
2 . 火災概況	P	2
3 . 出火件数	P	3
4 . 損害額	P	4

付属資料

資料 1 月別火災状況	P	5
資料 2 月別火災損害額	P	5
資料 3 月別原因別出火件数	P	6
資料 4 校區別出火件数	P	7

救急・救助編

1 . 救急出動件数の推移	P	8
2 . 救急概況	P	9
3 . 事故種別救急出動件数	P	10
4 . 住所・傷病程度・年齢別搬送人員	P	11 ~ 12
5 . 救助活動の推移	P	13
6 . 事故種別救助出動件数	P	13

警戒編

警戒出動件数	P	14
------------------	---	----

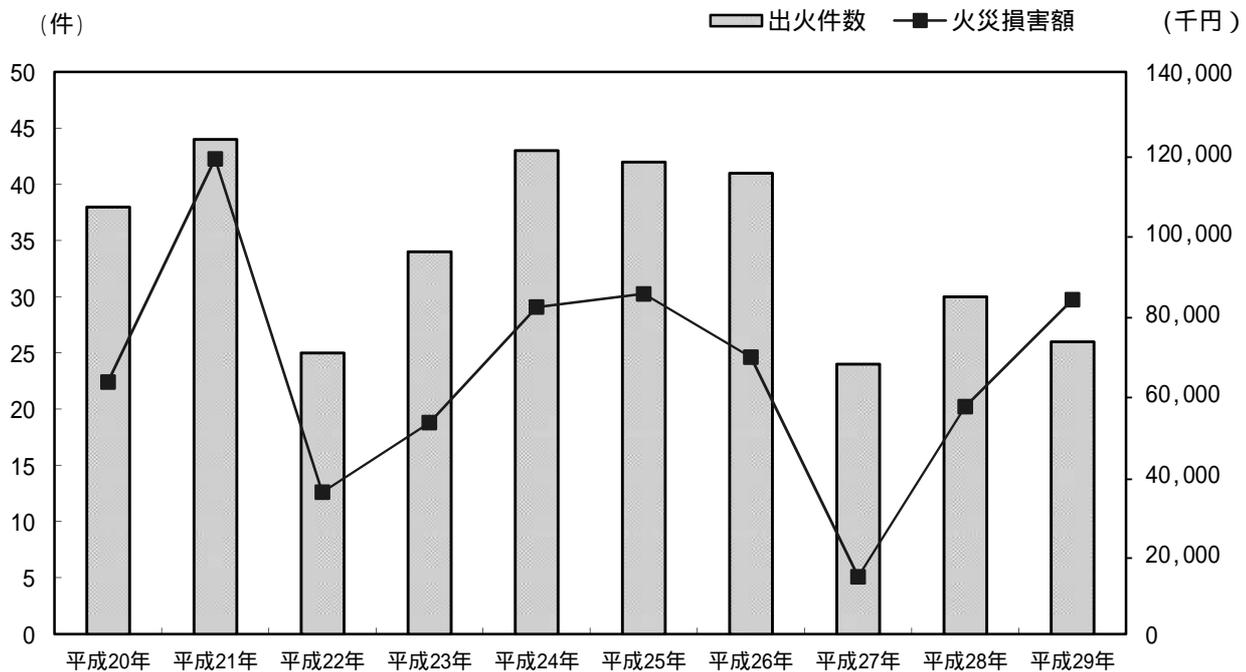
火災編

1. 火災の推移

平成29年中の出火件数は26件、火災損害額が83,230千円で前年に比べ出火件数は4件減少し、火災損害額が26,627千円増加している。

最近10年間の平均出火件数は約35件、平均火災損害額は約65,821千円である。

最近10年間の出火件数と損害額の推移



年中 区分	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	10年間平均
出火件数	38	44	25	34	43	42	41	24	30	26	35
火災損害額 (千円)	62,758	118,358	35,287	52,639	81,424	84,727	68,928	14,257	56,603	83,230	65,821

2. 火災概況

平成29年中の出火件数26件は、およそ14日に1件の割合で火災が発生したことになる。

平成29年中の火災による死者は2人で、前年より2人増加し、また、負傷者は3人で、前年に比べ2人減少している。

概況表

区分		年中			
		平成29年	平成28年	比較	
出火件数	建物	9	17	8	
	林野	3	1	2	
	車両	4	4	0	
	船舶	0	0	0	
	その他	10	8	2	
	計	26	30	4	
損害額 (千円)	建物	78,062	50,782	27,280	
	林野	0	0	0	
	車両	888	3,180	2,292	
	船舶	0	0	0	
	その他	4,280	2,641	1,639	
	爆発	0	0	0	
	計	83,230	56,603	26,627	
焼損面積等 (注)	建物	床面積(m ²)	1,211	576	635
		表面積(m ²)	6	38	32
	林野(a)	4	3	1	
	車両(台)	4	6	2	
	船舶(隻)	0	0	0	
焼損棟数(棟)		14	18	4	
り災世帯数(世帯)		8	7	1	
り災人員(人)		19	19	0	
死者数(人)		2	0	2	
負傷者数(人)		3	5	2	
1日平均発生件数		0.07	0.08	0.01	
1日平均損害額(千円)		228	155	73	
1件当たり損害額(千円)		3,201	1,887	1,314	
1人当たり損害額(円)		826	565	261	
出火率(件/人口1万人)		2.6	3	0.4	

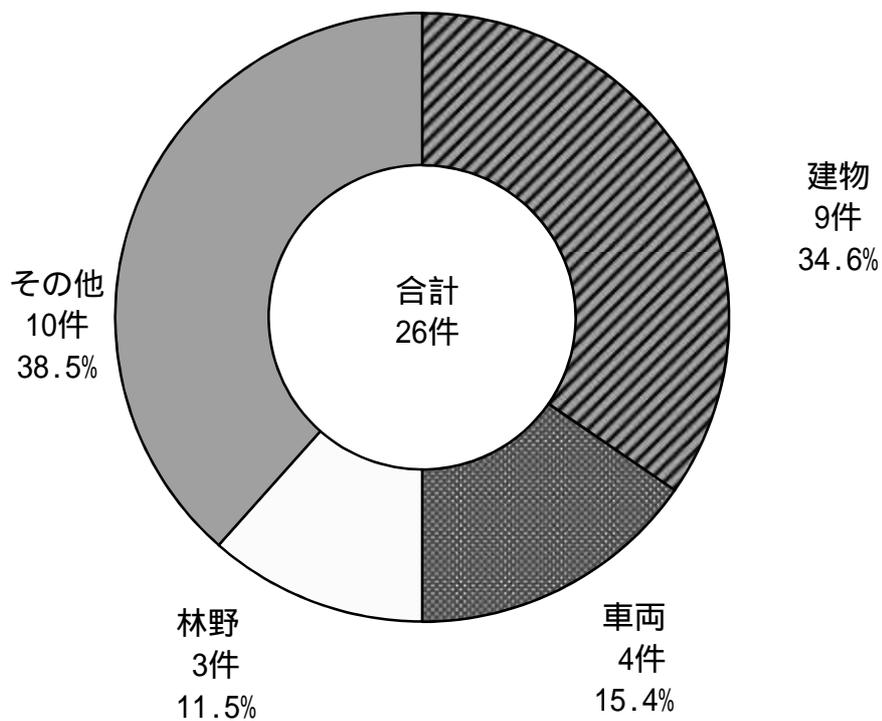
(注) 焼損表面積とは建物の焼損が部分的である場合をいう。(立体的に焼損が及ばなかった場合)。

(参考) 管内の人口は100,730人(平成29年12月末現在)

3 . 出火件数

平成 2 9 年中の火災種別による出火件数は、建物火災が 9 件発生し、全体の約 3 5 %を占め、次いで車両火災、林野火災の順となっている。

火災種別出火件数

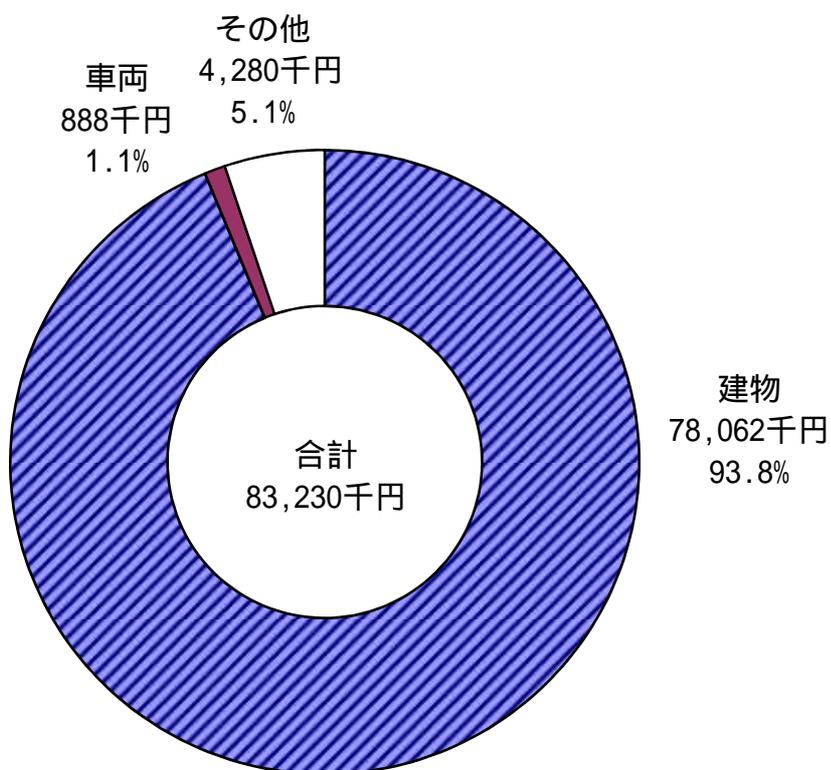


4. 損害額

平成29年中の火災損害額は83,230千円で、前年に比べ26,627千円増加している。

損害額を火災種別でみると、下図に示すとおりである。

火災種別損害額



資料1 月別火災状況

区分 月別	出火件数						焼損棟数					以災世帯数				死傷者数		焼損面積等					
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	全損	半損	小損	以災人員	死者	負傷者	建物 (㎡)	林野 (a)	車両 (台)	船舶 (隻)	
1月																							
2月	3		1			2											1						
3月	3	2		1			3	3				1	1			1			256			1	
4月	1	1					2	2				2	2			5			310				
5月	2					2																	
6月	5	2	1			2	3	1	1	1		1	1			4			246				
7月	2		1			1															4		
8月	3	1		1		1	3	1		1	1	2	1		1	3	1	1	399			1	
9月	3	1		1		1	1			1									2			1	
10月	1	1					1				1	1			1	4		1					
11月	1	1					1			1					1	2			4				
12月	2			1		1											1					1	
合計	26	9	3	4		10	14	7	1	4	2	8	5		3	19	2	3	1,217	4		4	

資料2 月別火災損害額

区分 月別	損害額(千円)							
	合計	建物			林野	車両	爆発	その他
		小計	建物	収容物				
1月								
2月	8							8
3月	6,577	5,977	5,067	910		600		
4月	10,955	10,955	6,980	3,975				
5月								
6月	47,728	47,628	43,732	3,896				100
7月	4,048							4,048
8月	12,807	12,747	6,946	5,801		60		
9月	144	18	3	15		126		
10月								
11月	737	737	626	111				
12月	226					102		124
合計	83,230	78,062	63,354	14,708		888		4,280

資料3 月別原因別出火件数

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	こ ん ろ												
た き 火			1						1				2
放 火		1											1
放 火 の 疑 い													
た ば こ								1					1
風 呂 か ま ど													
焼 却 炉													
煙 突 ・ 煙 道													
電 気 機 器						1							1
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線													
配 線 器 具													
火 あ そ び		1				1							2
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー													
溶 接 機 ・ 切 断 機					1								1
火 入 れ													
か ま ど													
炉													
ス ト ー プ													
こ た つ													
ボ イ ラ ー													
排 気 管													
電 気 装 置													
内 燃 機 関									1				1
灯 火									1				1
衝 突 の 火 花													
取 灰													
そ の 他						1							1
不 明 ・ 調 査 中		1	2	1	1	2	2	2	1		1	2	15
合 計		3	3	1	2	5	2	3	4		1	2	26

資料4 校区別出火件数

校区別	火災種別					
	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計
怡 土					2	2
前 原 南	1					1
波 多 江	1		1			2
東 風						
前 原			1		1	2
雷 山			1			1
加 布 里	1					1
南 風					1	1
長 糸	1					1
可 也		2				2
引 津	1	1			1	3
桜 野	2				1	3
福 吉					2	2
一 貴 山	1		1		2	4
深 江	1					1
合 計	9	3	4	0	10	26

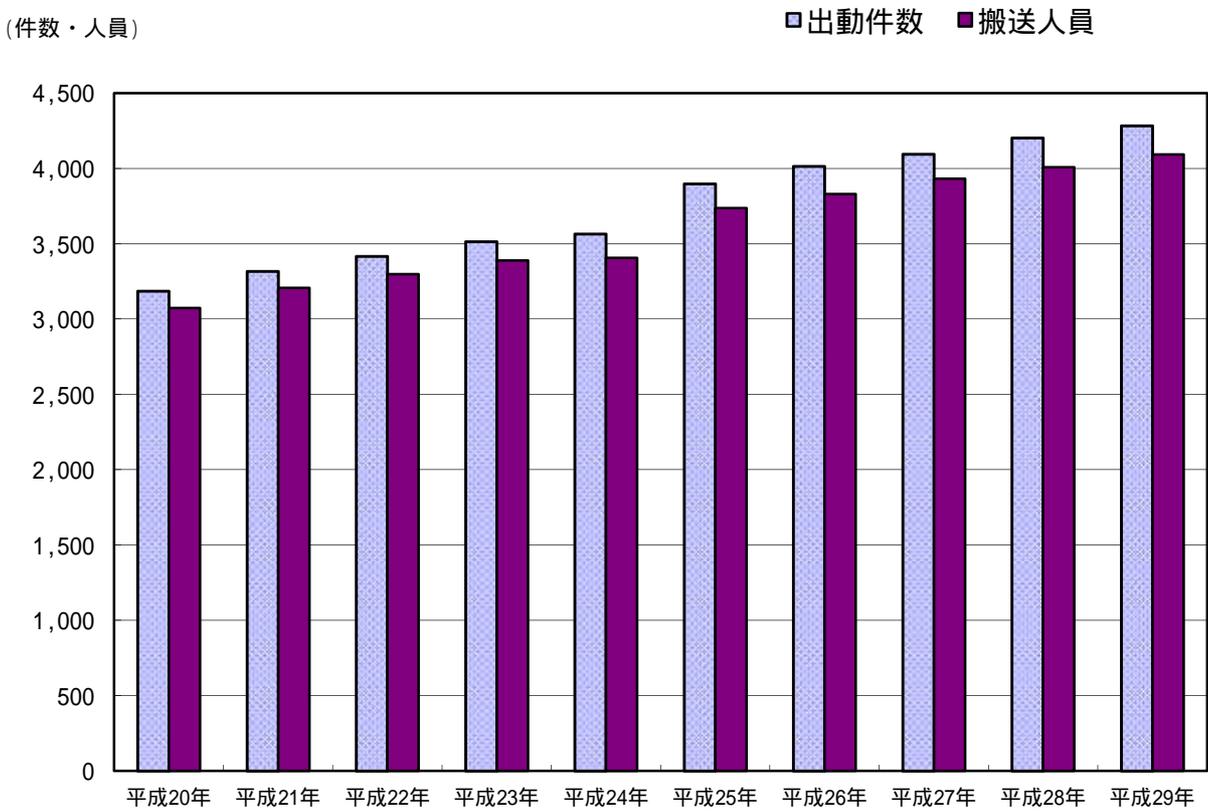
救急・救助編

1. 救急出動件数の推移

平成29年中の救急出動件数は4,283件、搬送人員は4,092人で前年に比べ出動件数は80件、搬送人員が85人増加している。

最近10年間の平均出動件数は約3,749件、平均搬送人員は約3,597人である。

最近10年間の救急出動件数及び搬送人員の推移



年中 区分	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	10年間平均
	出動件数	3,186	3,316	3,416	3,513	3,564	3,898	4,015	4,094	4,203	4,283
搬送人員	3,074	3,206	3,298	3,388	3,405	3,737	3,830	3,932	4,007	4,092	3,597

2. 救急概況

平成29年中の救急出動件数4,283件は、1日平均約12件出動したことになる。また、平成29年中の搬送人員4,092人は、住民の約24人に1人が搬送されたことになる。

概況表

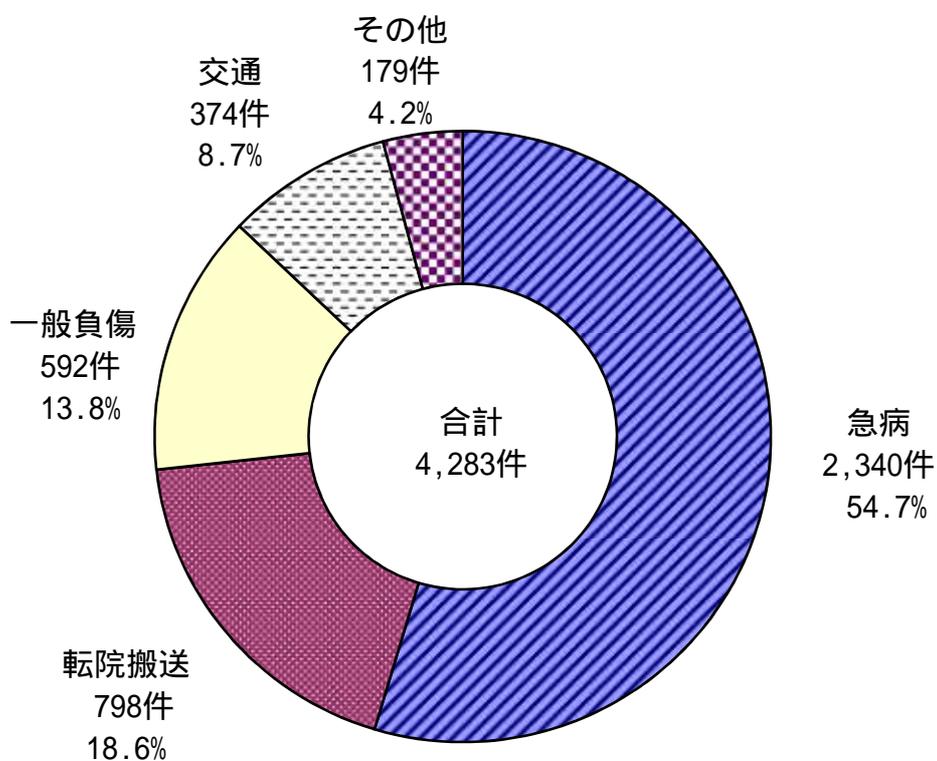
区分		年中	平成29年	平成28年	比較	
出動件数	火災		12	5	7	
	自然災害		0	0	0	
	水難		11	6	5	
	交通		374	367	7	
	労働災害		38	35	3	
	運動競技		41	24	17	
	一般負傷		592	590	2	
	加害		14	10	4	
	自損行為		36	35	1	
	急病		2,340	2,320	20	
	その他	管内転院搬送(注1)		104	116	12
		管外転院搬送(注1)		694	669	25
		医師搬送		0	0	0
		その他		27	26	1
計			4,283	4,203	80	
1日平均			11.7	11.5	0.2	
不搬送			251	245	6	
搬送人員	性別	男	2,102	2,094	8	
		女	1,990	1,913	77	
	計			4,092	4,007	85
	程度別	死亡(注2)		1	3	2
		重症(注3)		393	376	17
		中等症(注4)		2,336	2,331	5
		軽症(注5)		1,362	1,296	66
		その他(注6)		0	1	1
	計			4,092	4,007	85
	1日平均			11.2	10.9	0.3

- (注) 1. 転院搬送とは、医療機関に収容されている傷病者を他の医療機関に搬送することをいう。(管内は糸島市内、管外は糸島市外への搬送をいう)
2. 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。
3. 重症とは、傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするものをいう。
4. 中等症とは、傷病程度が重症又は軽症以外のものをいう。
5. 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。
6. その他とは、医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、並びにその他の場所に搬送したものをいう。(消防ヘリに引き継いだもの)

3. 事故種別救急出動件数

事故種別による救急出動件数は、急病によるものが全体の約55%で半数以上を占め、次いで転院搬送、一般負傷の順である。

事故種別救急出動件数



4.住所・傷病程度・年齢別搬送人員

平成29年中の救急搬送人員を住所別にみると、糸島市民が3,549人で大多数を占め、管外住民が543人である。また、傷病程度別にみると、重症と中等症の合計が全体の約67%で、軽傷が約33%である。さらに年齢別でみると、65歳以上が全体の約60%を占めている。

図1 住所別搬送人員

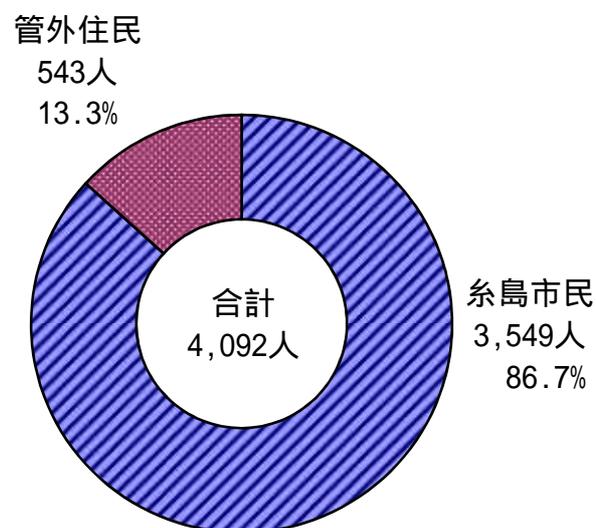


図2 傷病程度別搬送人員

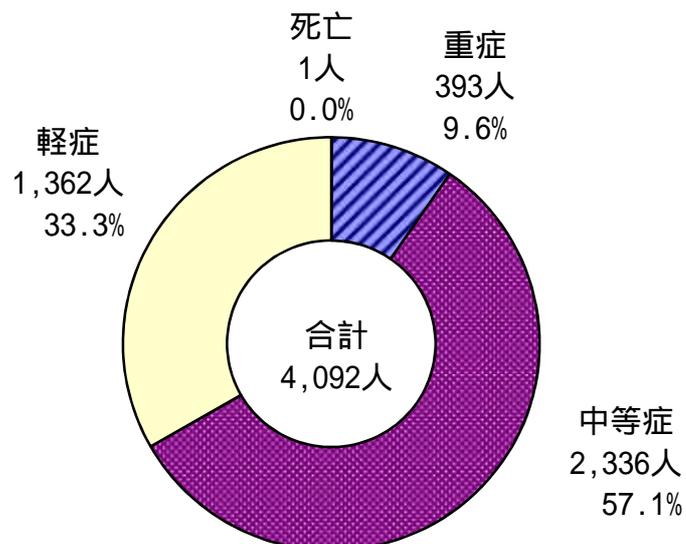
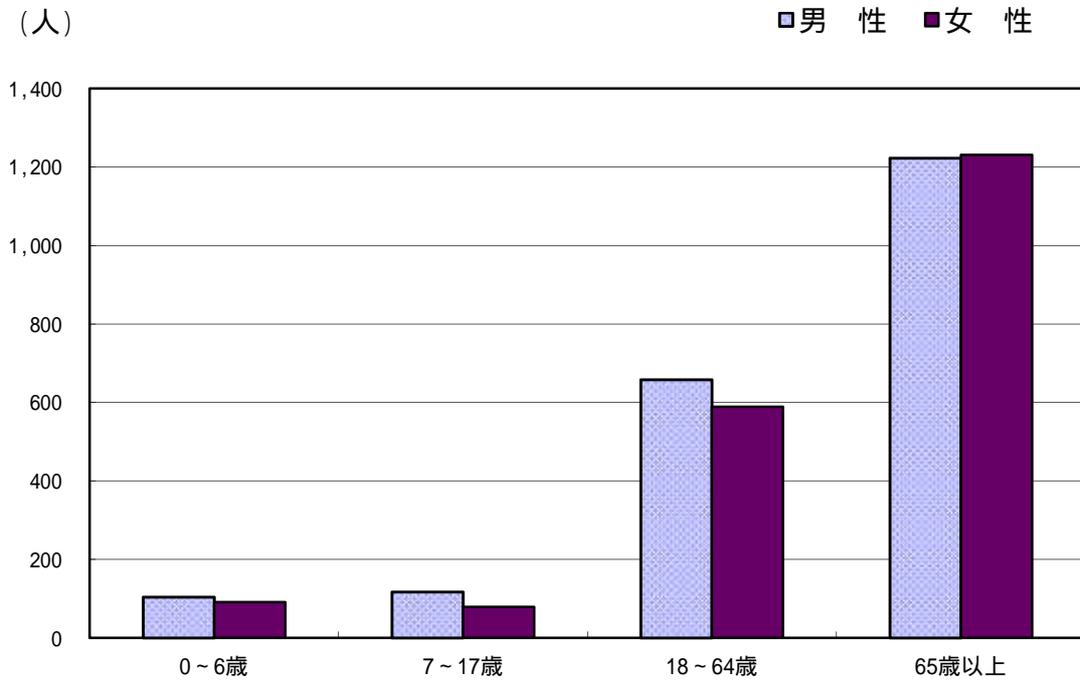


图3 年齡別搬送人員



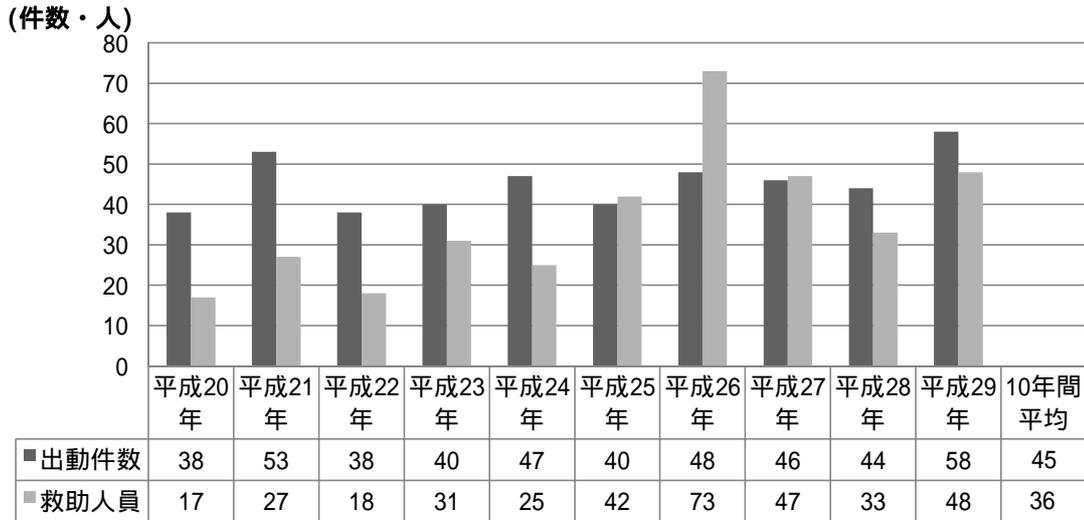
年 齡 \ 性 別	0~6歳	7~17歳	18~64歳	65歳以上	計
男 性	104	117	658	1,223	2,102
女 性	91	79	589	1,231	1,990
計 (人)	195	196	1,247	2,454	4,092
比率 (%)	4.8	4.8	30.4	60.0	

5. 救助活動の推移

平成29年中の救助出動件数は58件、救助人員は48人で、前年に比べ出動件数は14件、救助人員が15人増加している。

最近10年間の平均出動件数は約45件、平均救助人員が約36人である。

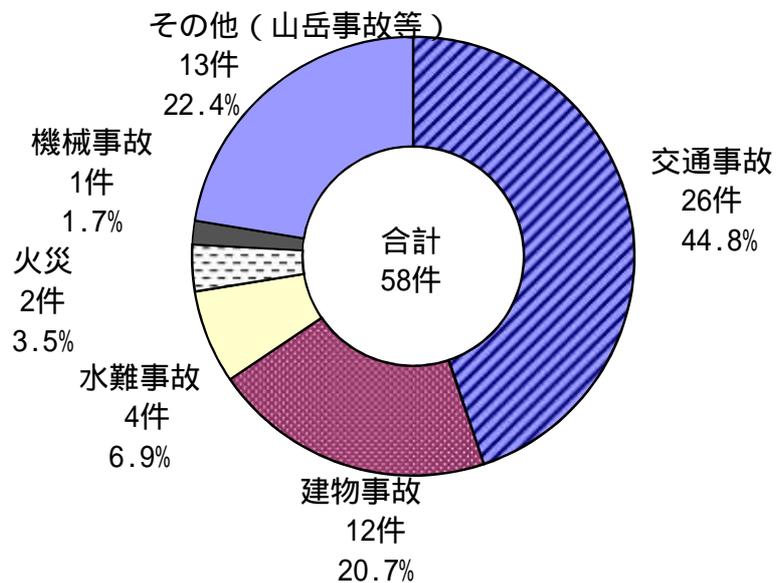
最近10年間の救助出動件数及び救助人員



6. 事故種別救助出動件数

事故種別による救助出動件数は、交通事故によるものが全体の約45%を占め、次いで建物事故、水難事故の順である。

事故種別救助出動件数



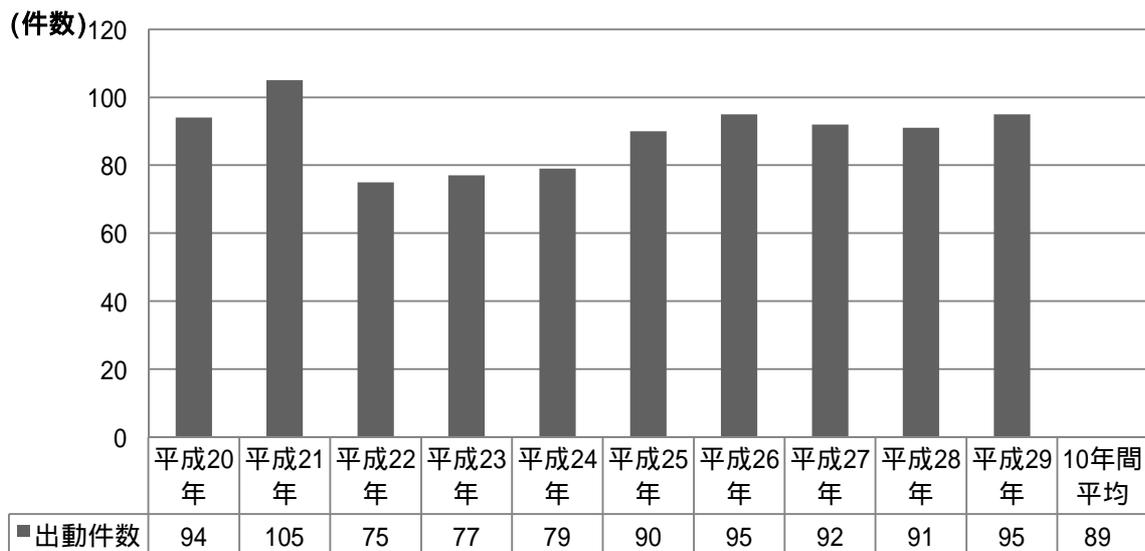
警 戒 編

警戒出動件数

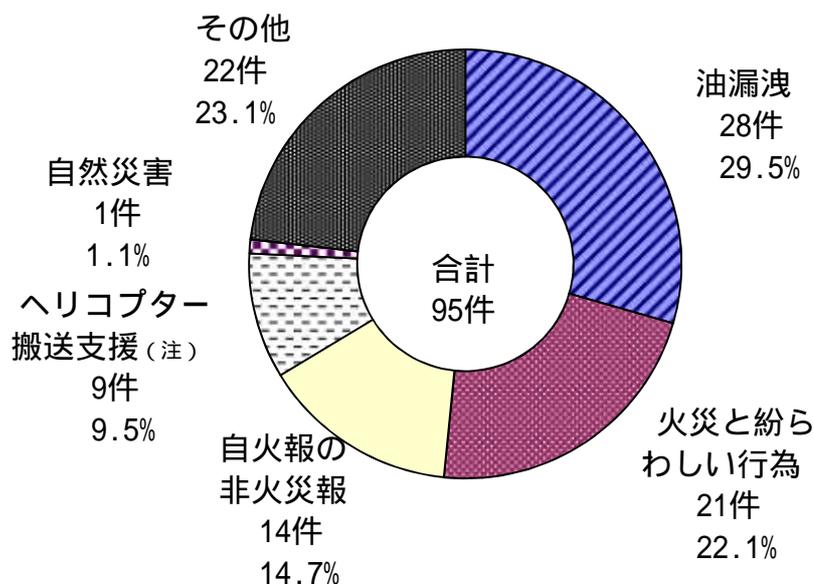
平成29年中の警戒出動件数は95件で、前年に比べ4件増加し最近10年間の平均出動件数は約89件である。

出動件数を原因別にみると、油漏洩によるものが全体の約30%を占め、次いで火災と紛らわしい行為、自動火災報知設備の非火災報の順である。

最近10年間の警戒出動件数



原因別出動件数



(注) ヘリコプター搬送支援とは、ヘリコプターで傷病者の搬送を依頼する場合にヘリコプター臨時離着陸場の安全を確保するため、消防隊が出動したものをいう。